CSR（企業の社会的責任）活動と人権に関する方針

2025年4月1日
共立興産株式会社

1. 環境への配慮

運送業は大気汚染など、環境への影響が大きいため、環境保護を考慮した取り組みが重要です。

- **燃費改善**：車両の燃費向上を目指して、運行管理の効率化やエコドライビングの実施。

- **低公害車両の導入**：環境に優しい車両の導入を進める。
- **リサイクルと廃棄物削減**：車両の部品や梱包材のリサイクルを推進し、廃棄物の削減を図る。

2. 労働環境の改善

労働環境が問題となることがあります。CSR の一環として、安全で働きやすい環境づくりが進められています。

- **安全運転の推進**：ドライバーの安全運転を促進するための教育や研修を実施。
- **過重労働の防止**：適切な労働時間管理や休憩時間の確保、長時間労働の防止。
- **福利厚生の充実**：健康診断やメンタルヘルス支援、育児休暇の充実など、従業員の福祉向上を図る。

3. 地域社会への貢献

地域との関係を重視する企業として、社会貢献活動を行うことも CSR の重要な側面です。

- **災害支援等の活動**：自然災害時等に物資輸送などの支援を行う。
- **地元雇用の創出**：地域の人々を雇用し、地域経済の発展に貢献。
- **地域清掃や環境保全活動**：会社周辺地域での清掃活動や環境保全活動への参加。

4. ビジネス倫理の確保

運送業における CSR は、企業倫理の遵守にもつながります。法令遵守や透明性の確保は、企業の信頼を高める要素です。

- **コンプライアンス**：法律や規制の遵守、適正な税務処理や取引の透明化。
- **顧客情報の保護**：個人情報や取引情報の管理に対する厳格なセキュリティ対策。
- **サプライチェーンの責任**：不正取引の防止や、持続可能な取引先との協力関係の構築。

5. 持続可能な経営

持続可能なビジネスモデルの確立も CSR の一環として重要です。社会的な変化や技術革新に対応する必要があります。

- **新技術の導入**：AI や IoT を活用した効率化や自動運転等の技術の導入。
- **エネルギー効率の向上**：施設のエネルギー使用効率を高める。
- **サプライチェーン全体でのサステナビリティ**：持続可能な輸送方法やパートナー企業との協力を通じて、サステナブルな供給網を構築。

運送業界における CSR は、企業の社会的信頼を高めるだけでなく、従業員や地域社会、環境に対する責任を果たすためにも非常に重要です。

6. 人権尊重の基本方針

差別・ハラスメントの禁止、安全で働きやすい労働環境の提供、人権侵害の防止と正義の確立、以上の原則に基づきます。